



2021年4月19日

各位

会社名 株式会社ヤマダホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 三嶋 恒夫
 (コード番号 9831 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経営企画室長 清村 浩一
 (TEL. 0570-078-181)

2021年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想について

2021年3月期の通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,719,000	百万円 75,200	百万円 81,000	百万円 43,000	円 銭 52.15
今回修正予想 (B)	1,750,000	92,000	98,800	51,700	62.70
増減額 (B - A)	31,000	16,800	17,800	8,700	
増減率 (%)	1.8	22.3	22.0	20.2	
(参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	1,611,538	38,326	46,074	24,605	28.38
[参考]前年比	108.6	240.0	214.4	210.1	

上記予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

修正の理由

2021年3月期の当社連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めず、不透明な市場環境を鑑み親会社株主に帰属する当期純利益以外は、2020年10月28日に開示した業績予想から据え置きとしておりましたが、売上高につきましては、感染拡大防止に対する様々な行動制限が長期化する中で、「特別定額給付金支給」、「テレワーク」や「巣ごもり」需要が継続、また、当社の「暮らしまるごと」コンセプトの事業効果もあり、テレビ、パソコン、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、空気清浄機などが想定以上に推移したことにより予想を上回る見込みとなりました。

利益につきましては、インターネット通販の好調を背景に、競合各社へ柔軟に対応した現金値引とポイントを絡めた最適な価格対応により利益率が向上したことに加え、ホールディングス化による効率経営の結果として販売費及び一般管理費の削減により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ予想を上回る見込みとなりました。

以上